

セミナープログラム

カンファレンスの言語：英語（英語/日本語の同時通訳付）

せ

→ 各国の航空宇宙産業の現状と・主要バイヤーによる調達ポリシー（Part 1）

開催場所：交流センター4F 第7会議室

2012年10月10日(水)

11:00am - 11:40am	Welcome & Registration
11:40am～12:10am	<p>■ グローバルサプライチェーンを管理するため Bombardier の手法 ボンバルディア（Bombardier Commercial Aircraft）北アジアセールスディレクター Jean-Francois TESSIER 氏 最近のOEMに関する経験により、サプライチェーンマネジメントは、極めて困難な分野であることが証明されました。OEMの成功は、サプライチェーンのマネジメントにより大きく依存するようになっていきます。それには、リスク緩和、先進品質計画、および極めて協力的な管理体制などのいくつかの活動分野を伴います。ボンバルディアは、90年代初期から統合サプライチェーンモデルを継続して改善してきました。そして、20年以上に渡るグローバルサプライチェーンのマネジメントの経験を共有します。</p>
12:10pm - 02:00pm	休憩
2:00pm～2:30pm	<p>・ ボーイング社グローバルサプライチェーンのリスクマネジメント ボーイング社副社長 Jeff LUCKEY 氏 ボーイング 787 のサプライマネジメント</p>
2:35pm～3:05pm	<p>・ 三菱重工の全社調達と民間航空機事業の SCM 戦略 三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所調達部長 竹嶋 信弘氏 2011年4月、三菱重工はグローバル事業の激変する競争環境へ対応する事業構造強化のため、オペレーション機能を事業部に統合する組織変更を行った。また、航空宇宙部門では増産が見込まれる民間航空機事業の収益構造を強化し、三菱重工の経営の柱とするため、サプライチェーンマネジメントの改革活動を展開している。</p>
3:10pm～4:15pm	<p>→ 航空機の部品製造に関するメキシコでの機会 プロメキシコ Promexico（メキシコの国際経済への参加を強化するためのメキシコ政府の機関）Rodolfo ESAU DE GARZA DE VEGA 氏 このプレゼンテーションでは、メキシコにおける航空宇宙産業の新しい事業傾向について説明します。また、2012年の前期におけるメキシコおよび日本に対する航空宇宙企業 2社の任務後に得られた詳細な結果について説明します。日本企業にとってのビジネスチャンスを紹介するとともに、メキシコで現在製造されている航空機部品、そして同市場で需要の高い部品および過程についても説明します。最後に、メキシコにおける航空宇宙産業の見込まれる成長および傾向に関する詳細な概要が紹介されます。</p>
4:15pm～5:15pm	<p>→ ポーランドの航空部門 ポーランド情報・外国投資庁（Polish Information and Foreign Investment Agency）副長官（PAIIZ）博士号、Arkadiusz TARNOWSKI 氏 マクロ地域東部ポーランドにおける航空部門 - 協力の可能性</p>

	<p>アビエーションバレー協会（Aviation Valley Association）委員 Marek BUJNY 氏 Aviation Valley - ポーランドにおける航空宇宙ワールドクラスの一団</p> <p>専門家、企業開発のためのポーランドの機関 (PARP) Magdalena ZWOLINSKA 氏 日本とポーランドの業務提供への支援 – ポーランドにおける情報源および対策。</p> <p>産業開発庁（Industrial Development Agency）、ミエレツ支局ディレクター、 Teresa ORCZYKOWSKA 氏、 経済特別区 ユーロパーク・ミエレツ（Euro-Park Mielec）南東ポーランドにおけるビ ジネスチャンスに焦点。</p>